

【資格の大原 静岡校】

2025 年宅建士試験 合格者インタビュー



S ・ F 様

2025 年 宅建士合格コース・入門パック

2025 年 宅建士試験合格

「楽しみながら勉強する」

女性経営者が、3つの事業を営みながら宅建合格を果たすまで

不動産賃貸業を含む3つの事業を営む S・F さんが、宅建士試験に挑戦した理由は、「子どもと一緒に勉強の雰囲気をつくりたい」という思いと、「不動産の知識を深めたい」という実務的な目的。多忙な経営者が、どうやって宅建合格を掴んだのか。石田先生の授業を「楽しかった」と何度も口にする彼女が語る、学びの本質とは。

■資格取得の動機—子どもと一緒に「勉強の雰囲気」を

—— 宅建を取ろうと思ったきっかけを教えてください。

S・F 一つは、子どもが高校1年生になったので、一緒に勉強しようと思ったんです。子どもは大学受験に向けて勉強していますから、勉強の雰囲気と一緒につくっていいかなと思ったんですね。

もう一つは、自分の仕事のためです。不動産賃貸業をしていますので、不動産業に関してもう少し勉強したいなと思って始めました。

■大原静岡校の教室通学を選んだ理由 ― 「資格の大原」への信頼

―― なぜ独学ではなく、学校に通おうと思ったのですか？

S・F もともと大原でいろいろな勉強をした経験が私にはありました。そのため大好きな学校だったからです。それに商工会議所の会員（受講料の割引の適用有）でもありましたので。

―― 講座を受けてみてどうでしたか？

S・F とても良かったです。学校に来ることで勉強習慣がつきました。石田先生の授業はとても理解し易く、（授業中に理解したら）自宅でもう1回ノートに理解した内容を綺麗に書くようにしました。書くことで理解が確実になります。そのためには、石田先生の授業を直接、聴講することがすごく大事になります。



■精力的に事業展開をする経営者の時間術

―― 3つの事業を経営されながら、どうやって勉強時間を確保したのですか？

S・F 10月に入るまでは、日中は仕事をしていました。朝は7時過ぎに起きて、仕事が終わるのは大体4時半か5時ぐらい。それから、授業がある日は授業に出席して、授業がない日は自宅で勉強します。子どもの家庭教師の先生が来ると、私も子ども部屋と一緒に勉強するようにしました（笑）。

S・F 試験1週間前の10月12日からは午前中だけ集中して仕事をして、午後は勉強する時間にしました。打ち合わせも多いのですが、この時は、打ち合わせは一切やめて、全部後回しにしました。

—— 休日はどう過ごしていましたか？**

S・F 水曜日と日曜日は会社が休みなので、その日は集中して勉強ができる大事な日になります。休みの日は、朝ご飯を食べながら石田先生の YouTube 動画を視聴して、それから勉強をします。午前、午後、夜と、時間を分けて勉強をします。

■ゴルフを封印 — 試験に向けた覚悟

—— 勉強の合間の楽しみは何でしたか？

S・F ゴルフを毎週、月に4回ぐらい楽しんでいました。8月の中旬ぐらいからはできるだけ行かないようにしました。でも朝早いし1日楽しんじゃうから10月は絶対行かないようにしました（笑）。

—— それは大きな決断ですね。**

S・F そうですね。でも、学校に行くこともいつもの楽しみでした。本当に楽しかったです。

■スランプの乗り越え方 — 「楽しみながら」がキーワード

—— 挫折しそうになった時期はありましたか？

S・F 授業が法令上の制限の分野に入り、都市計画法の最初のところが、用語が似ていてその辺りで、少し負けそうになりました（笑）。その時は、勉強の合間に散歩をしたりしました。

もう1回は、試験の直前5日間です。この期間に仕上げようと思っていたので、その時は少し大変でした。1日1科目にして、最後の日にもう一回全部見ようと思って。全部見終わったのが（本試験前日の）土曜日の午後でした。

—— モチベーションはどうやって保ちましたか？

学校に行ってクラスの人々と授業を受ける時間がとても楽しくて、石田先生の授業を受講することが出来てとても良かったです。



■石田先生の授業 — 「理解しやすい」・「楽しい」

—— 石田先生の授業の良かった点は？

S・F 先生の授業は、いつも楽しみながら受講できるので、それがすごく嬉しく思いました。とにかく理解しやすいので、家に帰ってから（復習として授業の内容を）自分でノートにまとめる時も、スムーズにできました。

ノートにまとめる方法は、授業を理解していなければできませんし、自分がノートに書く時にも（授業の内容を）考える必要があります。ノートに書くことは、授業を理解することと同じぐらい大事にしていました。

—— 石田先生の授業のダイジェスト版動画も活用されましたか？

S・F はい。ご飯を食べている時に、石田先生からLINE グループに送られてくるYouTube 動画を視聴しました。移動中とか、ちょっとしたスキマ時間にも視聴しました。



■試験当日一眠れない夜と、後ろの席の幸運

—— 試験前日はどうでしたか？

S・F 試験前日の土曜日の夜、頭が冴えてしまい全然眠れませんでした。明け方の朝 4 時過ぎから、眠りに入ることが出来たので良かったです。(笑)。

S・F 朝 8 時ぐらいに起きて、テキストを読もうかなと思ったのですが、今までの勉強をがんばる期間であり、今はリラックスするのが一番だと思い、ソファでくつろぐようにしました。試験会場にも何も持っていかなかったです。

—— 試験会場での様子は？

S・F グランシップで受験しましたが、12 時前には(試験会場に)着きました。外に出て深呼吸や体操をしてリラックスするように心がけました。また、一番後ろの席だったので、落ち着いて受験することができました。試験終了の 10 分前ぐらいに全て解き終わり、マークシートのマークの確認をしました。

■合格発表 — 海外出張中に届いた吉報

—— 自己採点はいつしましたか？

S・F 試験終了の後、マラソンを走り切ったあのような疲れを感じました。多分あまり寝てないからですね。それで自己採点は子どもに頼みました。

そしたら、子どもが「お母さん、41点だよ」って。その時、（ああ、よかったな・・・、41点なら、大丈夫かな・・・）と思いました。

—— 合格発表の日はどうでしたか？

S・F 実は海外に出張に行っておりましたので、合格発表の当日は主人が合否の確認をしてくれました。静岡空港に着いた時に「合格したよ、おめでとう」という主人のメールを確認しました。この時は、本当に嬉しかったです。心からの達成感を味わうことができました。



■家族の支え

—— 周囲のサポートは？

S・F 主人は朝食をつくってくれましたし、子どもも本試験の時、一緒に試験会場まで送ってくれて、「頑張ることよりもリラックスして」と応援してくれました。私自身も、「勉強を頑張る」のは普段であり、試験の時は（今まで頑張った力を出し切るために）リラックスすべき、と思っていたので力になりました。

—— 社員の方も協力してくれましたか？**

S・F そうですね。私がいなくても、社員みんなが自分の仕事をしっかりと進めてくれました。愛知にある工場にも3ヶ月ぐらい行くことが出来なかったのですが、本当に頑張ってくれて。社員全員に感謝したいです。

■合格をめざす方への応援メッセージ — 「大事なことは理解すること、そして楽しむこと！」

—— これから宅建合格を目指す方へアドバイスををお願いします。

S・F やっぱり石田先生の授業を受けて、自分もちゃんと先生の話を理解することが大事です。理解していれば、どんな形で出題されても、落ち着いて考えれば解くことができます。そして、何よりも楽しみながら勉強すること！これが一番大事なことです。石田先生のクラスのOGとして応援しています！

★インタビューを終えて★

—「楽しむ」ことが、すべての原動力—

今回のインタビューで、S・Fさんが何度も口にした言葉があります。それは、「楽しかった」です。3つの事業を経営しつつ、宅建の勉強をする。普通に考えれば、それは「大変」で「厳しい」挑戦のはずです。でも彼女にとって、それは「楽しい」ことでした。

— 石田先生の授業が楽しい。週2回の授業を楽しみにしている。みんなに会うのが楽しい。そして、子どもに「勉強する時の姿勢」を見せることができた —。

好きなゴルフを封印し、仕事の打ち合わせを後回しにし、試験前の1週間は午前中に仕事を済ませ、午後を勉強時間に充てる。そこまでの覚悟を持ちながらも、「楽しむ」ことを忘れなかった。

合格発表の日、海外から帰国した彼女に届いたのは、夫からの「おめでとう！」のメッセージ。その瞬間、達成感と感謝の気持ちが込み上げたと言います。

「みんなに感謝したい。先生にも、家族にも、社員にも。」

資格取得は、一人の力では成し遂げられません。周囲の支えがあり、そして何より、「楽しみながら学び続けること」が、合格への道を開きます。

あなたも、S・Fさんのように「楽しみながら」挑戦してみませんか？ 来年の合格者は、あなたかもしれません。



今後、ますますのS・F様のご活躍を祈念しております。誠におめでとうございます！
大原スタッフ一同

（右：S・F様 左：石田講師 ／ 実施日：2025年12月5日 ／ 場所：大原静岡校）